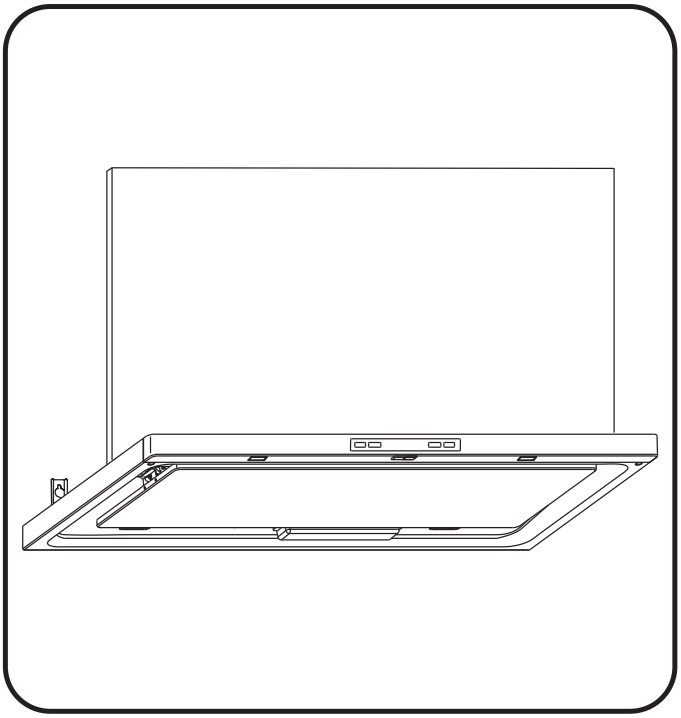
Panasonic



取扱説明書
レンジフード

シロッコファンタイプ

品番
S78BHWZ3M 900幅

家庭用 保証書付

トリプルワイド専用
換気連動システム対応型

このレンジフードは、弊社換気連動システムに対応した調理機器との組み合わせにより、換気連動システムとしても使用することができます。適応する調理機器は販売店にご確認ください。

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（2〜3ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書（27ページ）は、「お引き渡し日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意 ……2〜3
各部の名前 ……4
特長 ……5〜6
スイッチの使い方 ……7〜9
使用上のお願い ……10
お手入れ ……11〜19
もっと知りたいとき ……20〜22
故障かな？ ……23〜24
仕様 ……24
保証とアフターサービス……25〜26
保証書 ……27

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない

水ぬれ禁止

ショートや感電のおそれがあります。

■絶対に分解したり修理・改造しない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

●修理はお買い上げの販売店・工事店またはこの説明書に記載の「修理ご相談窓口」へご相談ください。

■ガス漏れのときはレンジフードのスイッチを入れたり切ったりしない

禁止

スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。

■分電盤のブレーカーをぬれ手で切／入しない

ぬれ手禁止

感電のおそれがあります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■電気工事、管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう

必ず守る

火災、感電のおそれがあります。

⚠注意

■運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない

接触禁止

けがのおそれがあります。

■フード本体の上には物を置かない

禁止

落下により、けがをするおそれがあります。

■お手入れは、部品が十分冷めてからおこなう

必ず守る

やけどのおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける

必ず守る

落下したり、けがをするおそれがあります。

■お手入れの際は、換気連動システムに対応した調理機器を操作しない

禁止

けがのおそれがあります。

■フード本体にぶら下がったり、もたれたりしない

禁止

落下して、けがをするおそれがあります。

■使用を終了した製品は放置せず、撤去する

必ず守る

万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。

■本体はしっかり取り付いているか、確認する

必ず守る

落下により、けがをするおそれがあります。

■長期間使用しないときは、電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切る

電源プラグを抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

■お手入れの際は、厚手のゴム手袋を使用する

必ず守る

板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

■お手入れの際は、本体のスイッチを「切」にする。
次に、スイッチをロックする

必ず守る

けがのおそれがあります。

※スイッチのロック方法については、7ページをご覧ください。

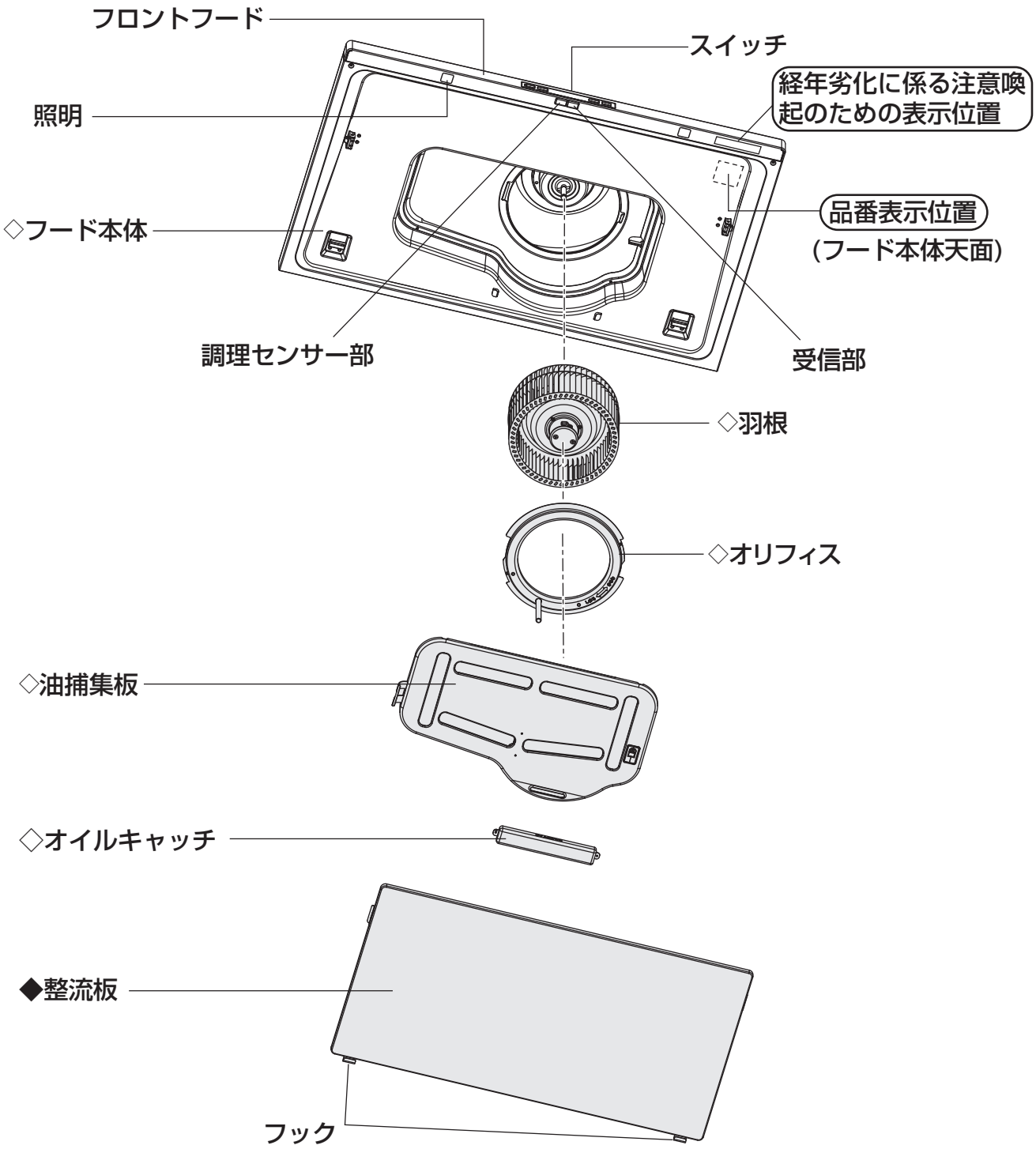
■照明を直接見ない

禁止

目がくらんだり、傷めたりするおそれがあります

各部の名前　品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

お願い　品番をご確認ください。
（修理依頼などのアフターサービスをご利用の際に、品番が必要になります）



◇印　はっ水塗装　　（☞ 12ページ参照）
◆印　特殊親水塗装　（☞ 12ページ参照）
◇・◆印の部品は、塗装の違いにより色合いが多少異なります。

特長

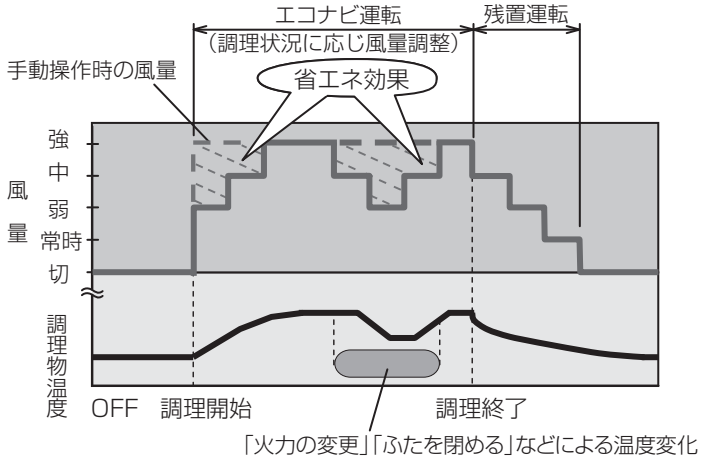
このレンジフードは、調理状況（調理物の温度変化）に合わせて風量を自動で調節して運転する「エコナビ」機能付きです。

●エコナビ運転とは

・レンジフード本体のエコナビボタンを押すと、
調理センサーが検知範囲内の調理物の温度を検知し
自動で風量制御運転します。

★エコナビ運転効果

エコナビ運転により、調理状況（調理物の温度変化）に合わせて自動で風量制御することで
省エネ効果を得られます。



エコナビ運転例

●運転風量のめやす

（IHクッキングヒーター使用時、1口調理）

調理内容	風量
揚げ物	強
いため物	強
煮物	弱～中

※上記はめやす風量です。
調理内容、火力により運転
風量が変わることがあります。

■調理機器の種類、方法によっては・・・

●調理機器（ＩＨ・ガス）の種類、調理方法によって風量が「多め」または「少なめ」となる場合があります。

「多め」になる例　：加熱中の鍋などを移動した場合
（調理機器のトッププレート上の移動またはゴトク上の移動）

「少なめ」になる例：鍋に大量の食材を入れた場合

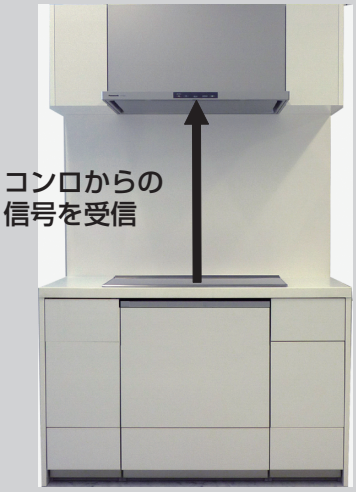
風量が「少ない」または「多い」と感じる場合は、状況に応じて手動で風量を切り換えてください。（お好みに応じてセンサーの感度を変更できます（20ページ参照））

●エコナビ運転中に「風量切換ボタン」を押すと、指定した風量で運転し続けます。
（エコナビランプが消灯し、エコナビ運転にはなりません）

●調理機器上の検知範囲外の鍋温度は検知できません。（検知範囲は上図参照）

特長（続き）

このレンジフードは調理機器からの信号を受信し、自動的にエコナビ運転をします。



＜換気連動システム対応型調理機器をご使用の場合＞
・調理機器を運転するとレンジフードが自動的にエコナビ運転をします。（9ページ）

●残置運転

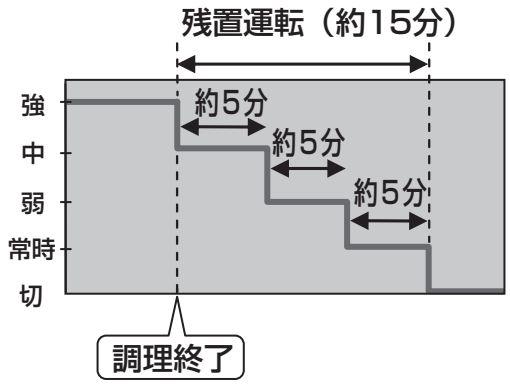
レンジフード運転中に「切」ボタンを1回押す、または調理機器からのOFF信号を受信すると、そのときの運転風量から1段階風量を下げ、さらに約5分ごとに1段階ずつ風量を下げ、風量「常時」へ移行し約5分後、運転停止します。（残置運転時は、風量ランプが点滅）

＊換気連動システム対応調理機器をご使用の場合で、常時換気モードが設定されている場合は、残置運転のあと風量「常時」で運転します。（20ページ）

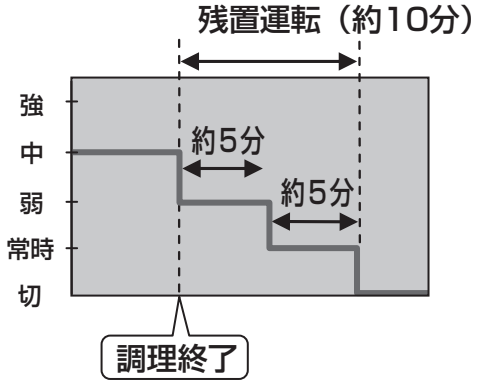
＊風量については7ページを参照してください。

＜例＞

●「強」運転を停止からの残置運転



●「中」運転からの残置運転



スイッチの使い方

■スイッチ

エコナビ エコナビ ボタン	**・エコナビ運転をします。（エコナビランプが点灯）** エコナビ運転時は、調理状況に合わせてレンジフードを自動で風量制御します。 （エコナビ運転について→5～6ページ参照） ＊停止状態から、エコナビボタンを押すと、約５秒後にファンが回り出します。これは、給気電動シャッター連動時に室内外差圧を少なくするための動作で、故障ではありません。
風量切換 ボタン	**・風量を切り換えます。** 停止中に1回押すと風量「常時」で運転します。 ボタンを押すごとに、常時→弱→中→強 と風量が切り換わります。 常時・・・常時換気（住宅全体の換気）をするとき。 油煙の非常に少ないとき。 弱・・・・油煙の少ないとき。 中・・・・通常の運転のとき。 強・・・・早く換気したいとき・油煙が多いとき。 ＊レンジフード運転中は、風量に合わせて風量ランプが点灯します。
照明切/入 ボタン	**・照明の切/入を切り換えます。** 1回押すと照明が点灯し、もう1回押すと照明が消灯します。
■ 切 切 ボタン	**・運転を停止します。** レンジフード運転中に１回押すと約5～15分残置運転（6ページ参照）したあと停止します。２回押すとすぐに運転を停止します。 **・スイッチのロック／解除をします。** ※お手入れの際は必ずスイッチを切り、ロック設定をおこなってください。 【ロック設定】・・・３秒以上押し続けると、「ピピ」と音がしてスイッチがロックされます。（ランプが点灯します） 【ロック解除】・・・もう1回３秒以上押し続けると「ピー」と音がしてロックが解除されます。（ランプが消えます） ＊運転停止時のみロック設定が可能です。 ＊スイッチロック状態のときは、本体操作スイッチを操作しても運転しません。（「ピーピーピーピー」と音がします）

スイッチ近傍に［24時間連続換気してください］のラベルが貼ってある場合、本レンジフードは、建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備です。調理時やお手入れ時以外は、常に風量「常時」で24時間連続換気をしてください。

スイッチの使い方（続き）

レンジフードリモコン（スイッチ）

※コンロによってリモコンの場合とスイッチの場合があります。

運転切ボタン

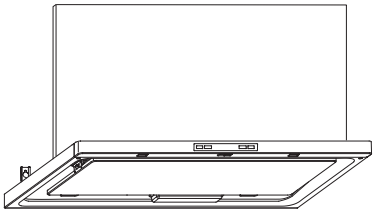
運転を停止するとき
運転中に1回押すと約5～15分残置運転（6ページ）したあと停止します。
2回押すとすぐに運転を停止します。

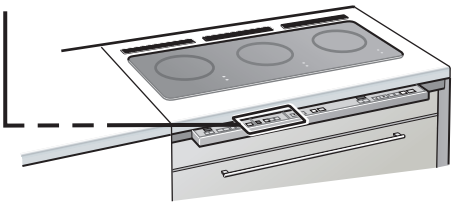
運転入／風量ボタン

レンジフードを運転するとき
停止中に1回押すと、風量「常時」で運転します。
運転中に押すごとに
┌→常時→弱→中→強┐と風量が
切り換わります。

ボタン

手元が暗いとき
1回押すと照明が点灯し、もう1回押すと照明が消えます。





レンジフードリモコンについて

お 願 い

■レンジフードリモコンは電池交換やお手入れ時以外は、必ずトリプルワイドコンロ操作部に組み込んだ状態でご使用ください。
頻繁な脱着は損傷の原因となります。

「換気連動システム」に対応した調理機器をご使用の場合

調理機器から送信される赤外線信号をレンジフードが受信し、自動的に運転/停止します。

調理機器の操作	レンジフードの動作	風量表示	照明
入	「エコナビ運転」で運転します。 ※1	風量表示が点灯	点灯 ※2
切	「切」信号を受信したときの運転風量から1段階風量を下げ、さらに約5分ごとに1段階づつ風量を下げ、風量「常時」へ移行後約5分で運転を停止します。（6ページ）※3	風量表示が点滅し、その後消灯	消灯 ※4

※1　エコナビ運転中に手動で風量ボタンによる操作をおこなった場合、手動での風量変更操作が優先され、エコナビ運転はおこなわれません。
※2　照明連動モードが解除されている場合は、照明は点灯しません。（21ページ）
※3　レンジフードが常時換気モードに設定されている場合は、風量「常時」で24時間連続換気をおこないます。（レンジフードは停止しません）（20ページ）
※4　手動で照明点灯操作をおこなった場合、手動での照明操作が優先され、連動での照明消灯動作はおこなわれません。

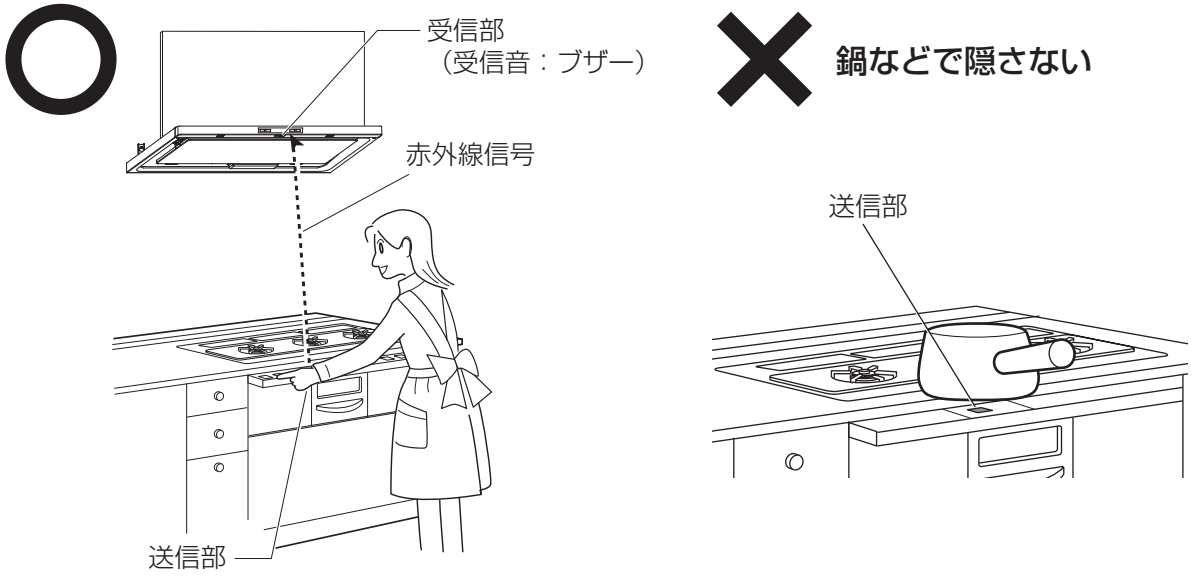
お 願 い

- **換気連動システムとしてご使用になる場合は、弊社換気連動システムに対応した調理機器との組み合わせが必要です。（他社製調理機器との組み合せでは連動しないことがあります）**
- **調理機器の取扱説明書もよく読んでご使用ください。**
- **換気連動システムが正しく動作しているか、風量ボタンおよび照明をご確認ください。**

レンジフードリモコン（スイッチ）、「換気連動システム」に対応した調理機器をご使用の場合

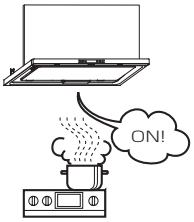
お 願 い

- **レンジフードの真下に頭を近づけないでください。換気連動システムが正常に動作しないことがあります。**
- **鍋などにより、送信部を隠さないでください。換気連動システムが正常に作動しないことがあります。**



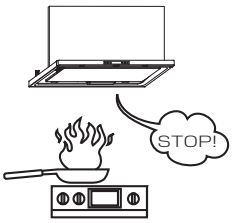
使用上のお願い

■ガス調理機器、電気調理機器を使用する場合は、必ず運転をしてください。また、空炊きはしないでください。



レンジフード内の異常高温による故障の原因となります。

■油に火がついたときは運転を停止してください。



レンジフードが動作していると火の勢いがよけいに強くなります。

■レンジフード使用時は、調理部に風があたらないようにしてください。

エアコンなどの風を受けると、吸い込みが悪くなります。特に、電気調理機器は調理による上昇気流が少ないため、油煙がレンジフードから漏れやすくなります。

■羽根をはずした状態でモーターを回転させないでください。

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。

■油捕集板に市販のフィルターを重ねて使用しないでください。

吸い込みが悪くなります。

■炎のあがる調理はしないでください。

■IH調理機器（電気調理機器）使用時、レンジフードが暖まりにくいため結露（水滴）が生じることがあります。
その場合は、滴下する前にふき取ってご使用ください。

■レンジフード運転時は、十分な給気を確保してください。

給気が不足すると、不完全燃焼・吸い込みが悪くなる・異臭がする・扉が開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

■IH調理機器（電気調理機器）使用時、結露水がオイルキャッチにたまる場合があります。
こまめに水を捨ててください。

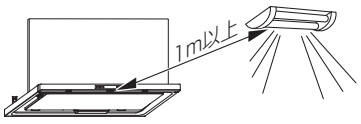
■テレビやラジオなどは、本体から1m以上離してお使いください。

音響が雑音により聞こえにくくなったり、雑音が強く聞こえ耳ざわりに感じることがあります。

■リフォーム時や機器設置環境などを変更する場合は下記に注意してください。

・受信部と照明器具を近づけすぎない。
（照明器具が受信部から1m以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります。）

・直射日光があたる場所など、極端に明るく照らせる場所には設置しない。
（調理機器側からの赤外線の信号受信が妨げられ、動作しないことがあります。）



お手入れ

⚠注意

■お手入れの際は、本体のスイッチを「切」にする。次に、スイッチをロックする

必ず守る

けがのおそれがあります。

※スイッチのロック方法については、7ページをご覧ください。

■お手入れの際は、厚手のゴム手袋を使用する

必ず守る

板金・樹脂部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

■お手入れの際は、換気連動システムに対応した調理機器を操作しない

禁止

けがのおそれがあります。

■運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない

接触禁止

けがのおそれがあります。

■お手入れは、部品が十分冷めてからおこなう

必ず守る

やけどのおそれがあります。

お願い

■高い所での作業となりますので足場には十分気を付けてください。
■部品の変色、変質、変形防止のため、高温（浴用より高い）の湯の漬け置き洗いや食器洗い乾燥機の使用などはしないでください。
■高圧清掃水、高温スチームは使用しないでください。
■塗装の変質、変色、はがれ防止のため下記のものは使わないでください。
■汚れを長時間放置すると、汚れが落ちなくなったり、部品がはずれなくなったりすることがあります。早めにお手入れをしてください。
■お手入れのときは調理をやめ、鍋などはレンジフードの下に置かないでください。

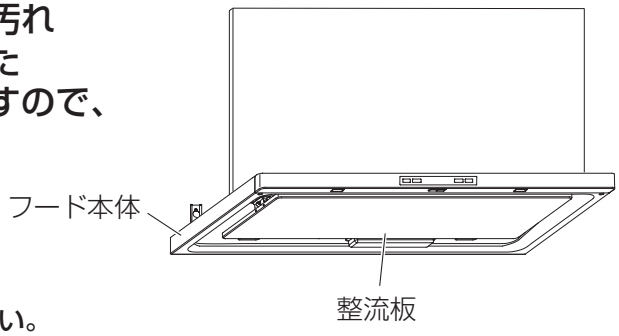
下記のようなものなどは使用しないでください。

お手入れ（続き）

日常のお手入れは

●フード本体：3か月に1回程度
各部のお手入れはぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取り、水ぶきをしてください。

●ご使用頻度や環境によりフード本体の汚れ度合いも異なり、フード本体に付着した水分や油分が滴下するおそれがありますので、滴下前にふき取ってご使用ください。

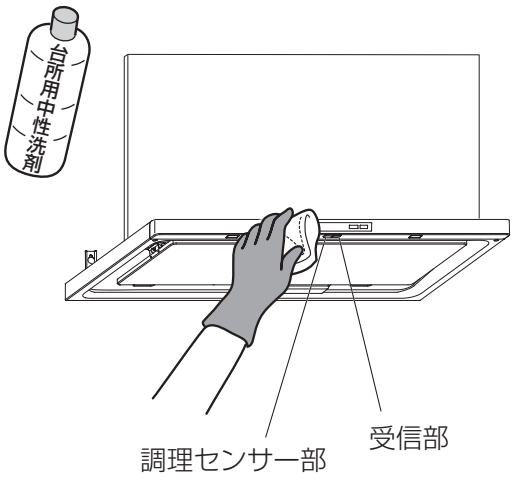


お 願 い

・汚れが目立つ場合は日常的にお手入れしてください。

調理センサー部、受信部、送信部（月に１回程度）のお手入れは

●ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取ってください。その後、洗剤が残らないように水を湿らせた布で洗剤をよくふき取ってください。換気連動システムをご使用の場合は、調理機器の送信部の汚れをふき取ってください。
油汚れを放置すると、調理センサーの感度や受信性能が低下します。



特殊親水塗装、はっ水塗装（フッ素処理）について

■整流板には、油汚れが水ぶきでサッととれる「特殊親水塗装」をしています。
■フード本体（下面、側面）、オイルキャッチ、油捕集板、オリフィス、羽根には、油汚れの取りやすい「はっ水塗装（フッ素処理）」をしています。

お願い

・特殊親水塗装、はっ水塗装（フッ素処理）の効果を生かすためには、早めのお手入れ（1か月に1回程度）が必要です。

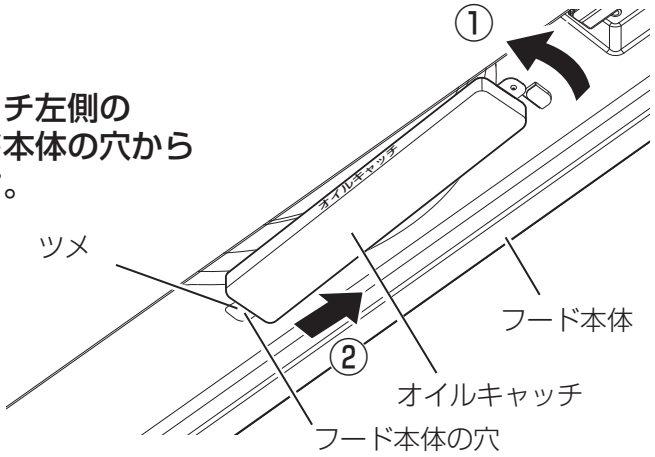
汚れたまま放置したり、ご使用などで部品がいたんできたら、お早めに交換してください。
（オイルキャッチは消耗部品としてお求めになれます）

オイルキャッチのお手入れは（月に1回程度）

■取りはずし

1 オイルキャッチ右側を
手前に引いてはずす。
（油だれに注意してください）

2 オイルキャッチ左側の
ツメをフード本体の穴から
抜いてはずす。

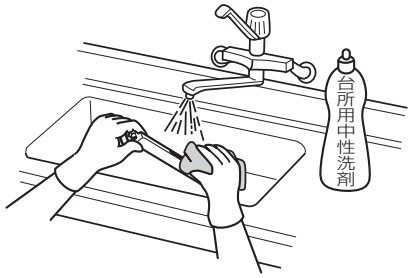


■汚れをとる

油や結露水がたまっている場合は、キッチンペーパーなどでふき取ってから、台所用中性洗剤で洗う。

※使用状況によって、オイルキャッチにほとんどたまらない場合があります。

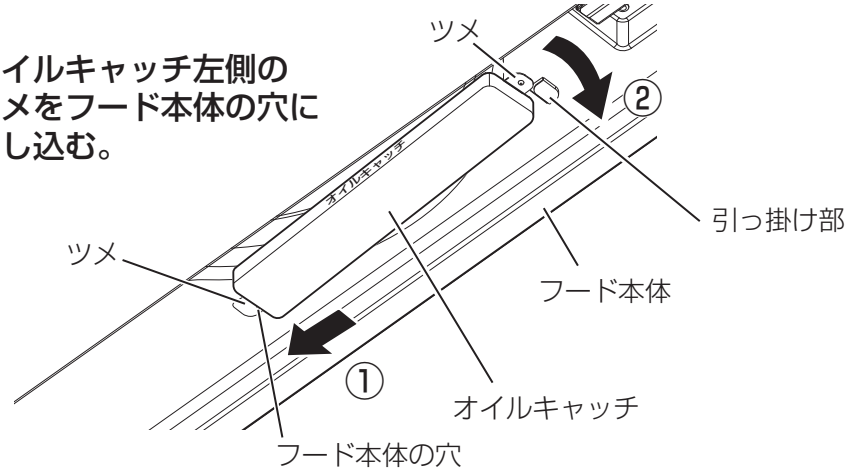
※冬期など結露の生じやすい時期は、こまめにたまった水を捨ててください。



■取り付け

2 オイルキャッチ右側のツメを
フード本体のオイルキャッチ引っ掛け
部に確実に挿入する。

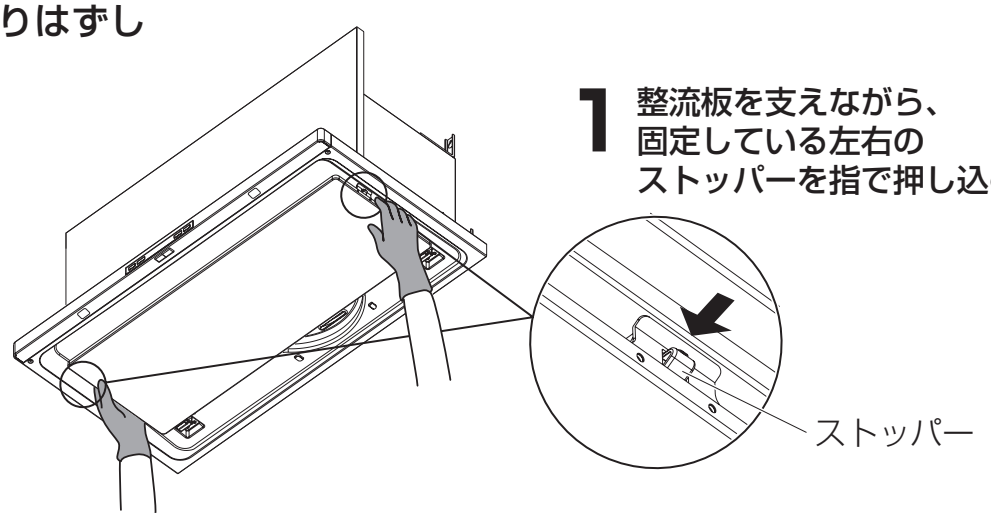
1 オイルキャッチ左側の
ツメをフード本体の穴に
差し込む。



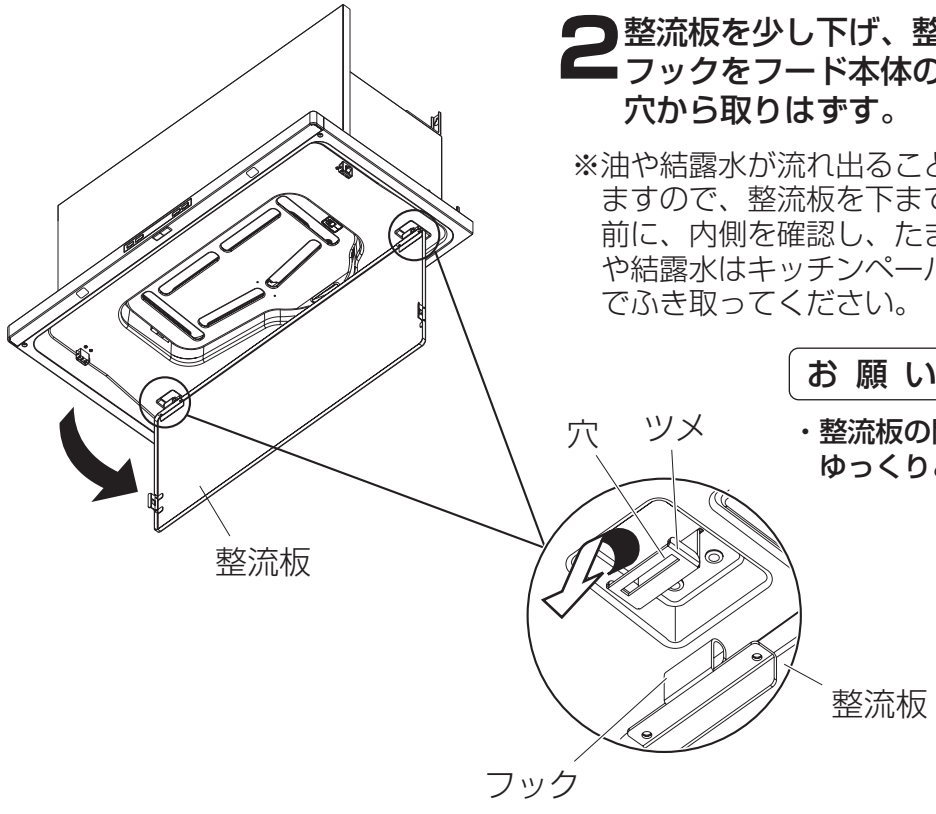
お手入れ（続き）

整流板のお手入れは（月に1回程度）

■取りはずし



1 **整流板を支えながら、固定している左右のストッパーを指で押し込む。**



2 **整流板を少し下げ、整流板のフックをフード本体のツメの穴から取りはずす。**

※油や結露水が流れ出ることがありますので、整流板を下まで下げる前に、内側を確認し、たまった油や結露水はキッチンペーパーなどでふき取ってください。

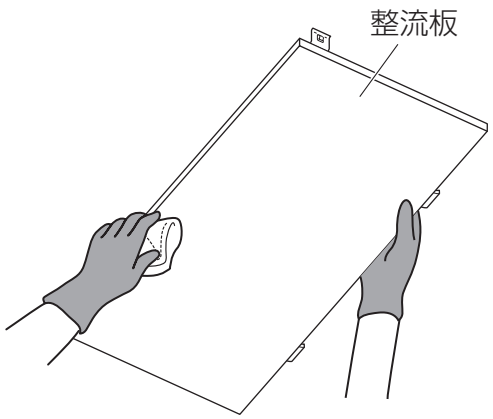
お 願 い

- **整流板の開閉は手で支えながらゆっくりとおこなってください。**

■汚れをとる

①整流板の表裏面は、水分を含ませたスポンジ、ふきんなどで汚れをふき取ってください。

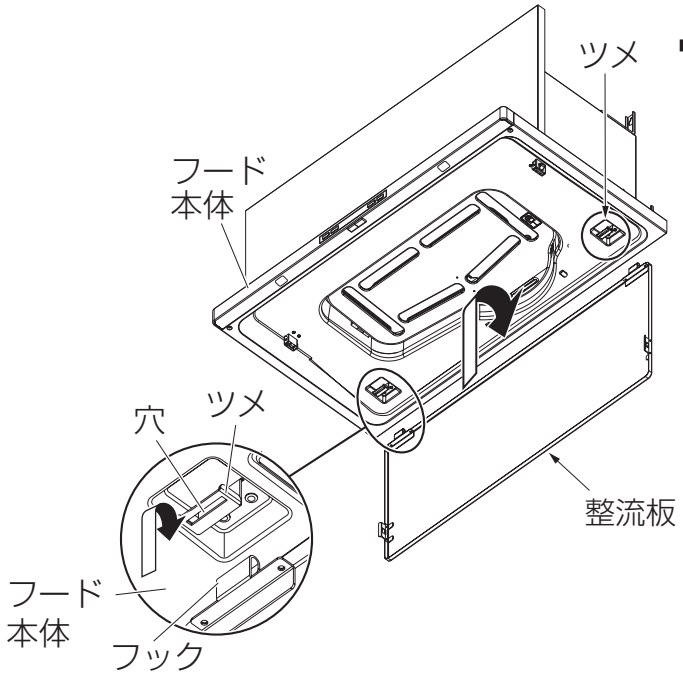
②がんこな汚れの場合は、台所用中性洗剤に浸したスポンジ、樹脂製ブラシで汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。



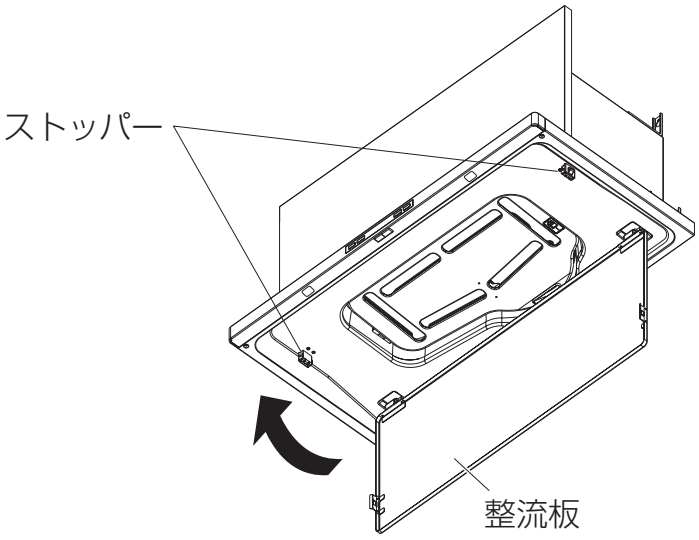
お 願 い

- **はずした整流板は平らな場所でお手入れをしてください。**
  変形・傷の原因となります。

■取り付け



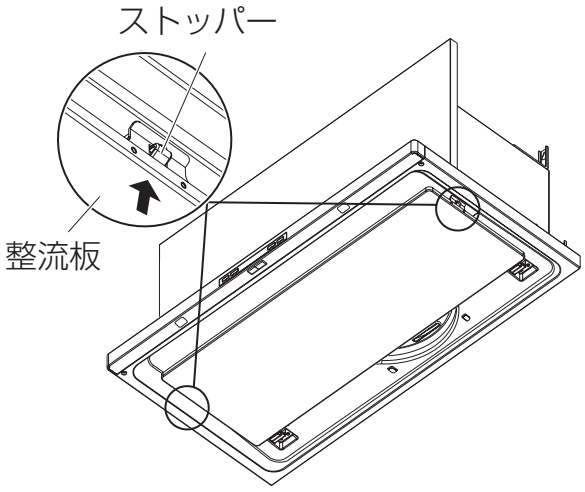
1 整流板を両手で持ち、
フックをフード本体の
ツメの穴に手前側から掛ける。



2 整流板を両手でおこして、
ストッパーにきちんと
はまるまで押し上げる。

お 願 い

・整流板がきちんと固定されているか
確認してください。



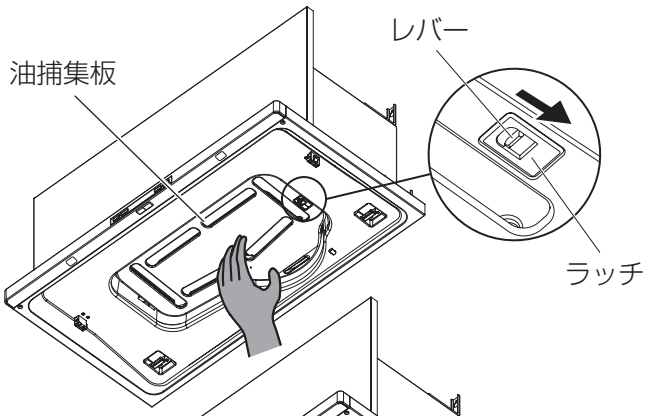
お手入れ（続き）

油捕集板のお手入れは

■取りはずし

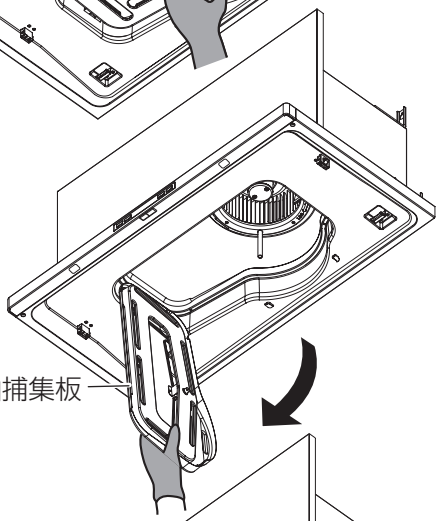
1 **整流板、オイルキャッチをはずす。**
（☞13～14ページ）

2 **油捕集板の中央部を手で支え、ラッチのレバーを奥に押してはずす。**



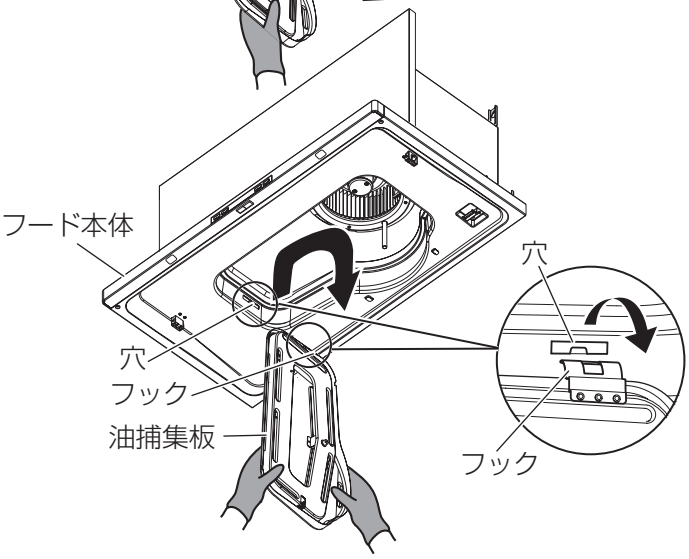
3 **油捕集板の右側を下へおろす。**

※このとき油捕集板の中にたまっている油や結露水がこぼれないように注意してください。



4 **油捕集板を上に持ち上げながら、油捕集板左側のフックをフード本体の穴から取りはずす。**

※フックを変形させないように注意しながら取りはずす。

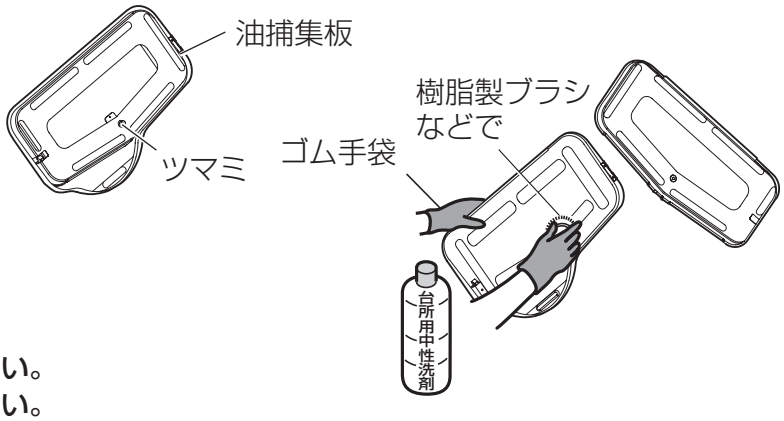


■汚れをとる

1 **ツマミをゆるめ、油捕集板を分離する。**

2 **台所用中性洗剤と樹脂製ブラシなどで汚れを落とす。**

3 **水分をよくふき取り、乾燥させてください。**

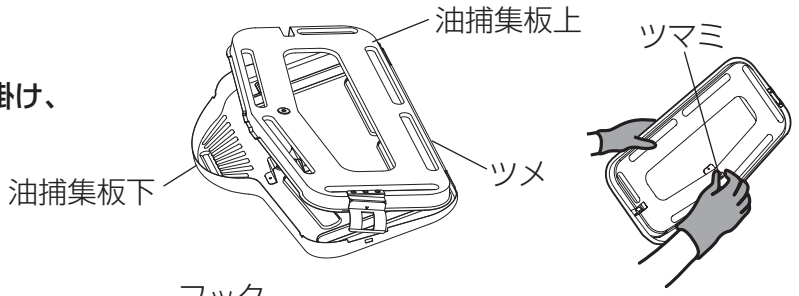


お 願 い

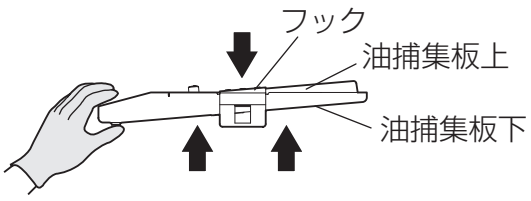
- **金属製たわしなどは使わないでください。**
- **食器洗い乾燥機では洗わないでください。**
  （アルカリ性洗剤を使用しているため、変質、変色が生じることがあります。）

■油捕集板の組み立て

1 油捕集板上のツメを油捕集板下に掛け、ツマミを締め付け、油捕集板上と油捕集板下を固定する。

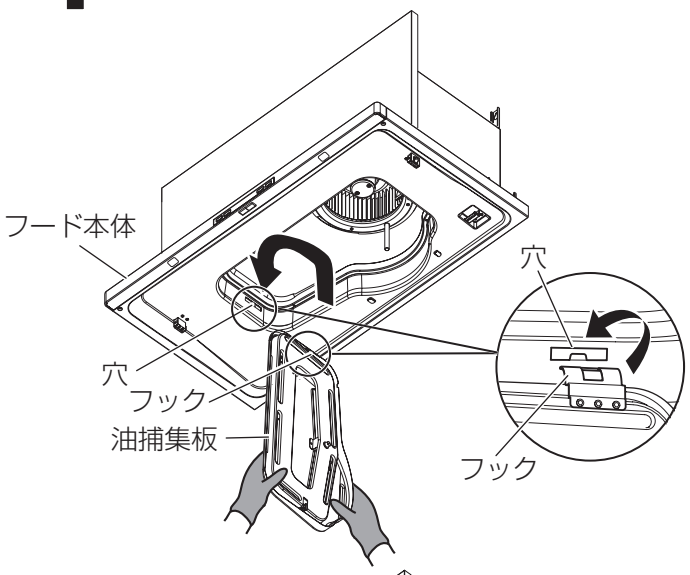


2 フックを油捕集板下側へ押し込む。
（フック内側の突起が油捕集板下の角穴に入ります。）

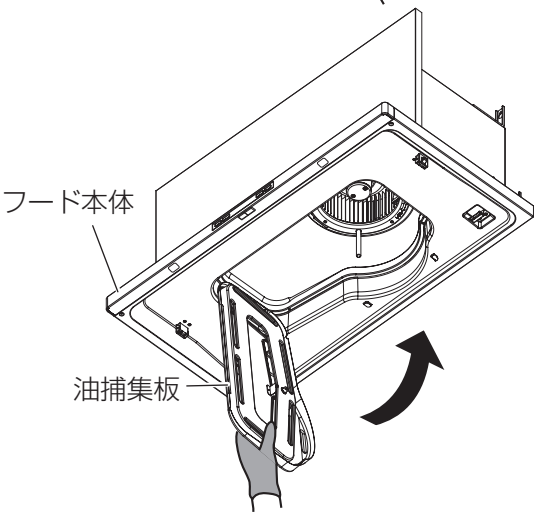


■取り付け

1 油捕集板左側のフックを、右側からフード本体の穴に掛ける。

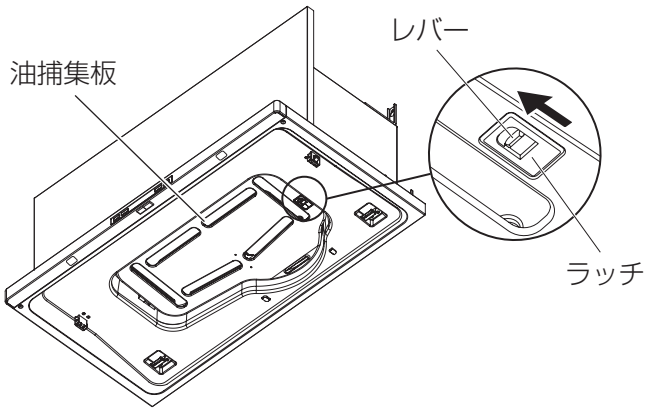


2 油捕集板を左側に押し当てながら、油捕集板右側を押し上げて、フード本体に固定する。



お 願 い

・油捕集板のラッチがきちんとかかっていることを確認してください。



お手入れ（続き）

羽根・オリフィスのお手入れは（年に1回程度）

■取りはずし

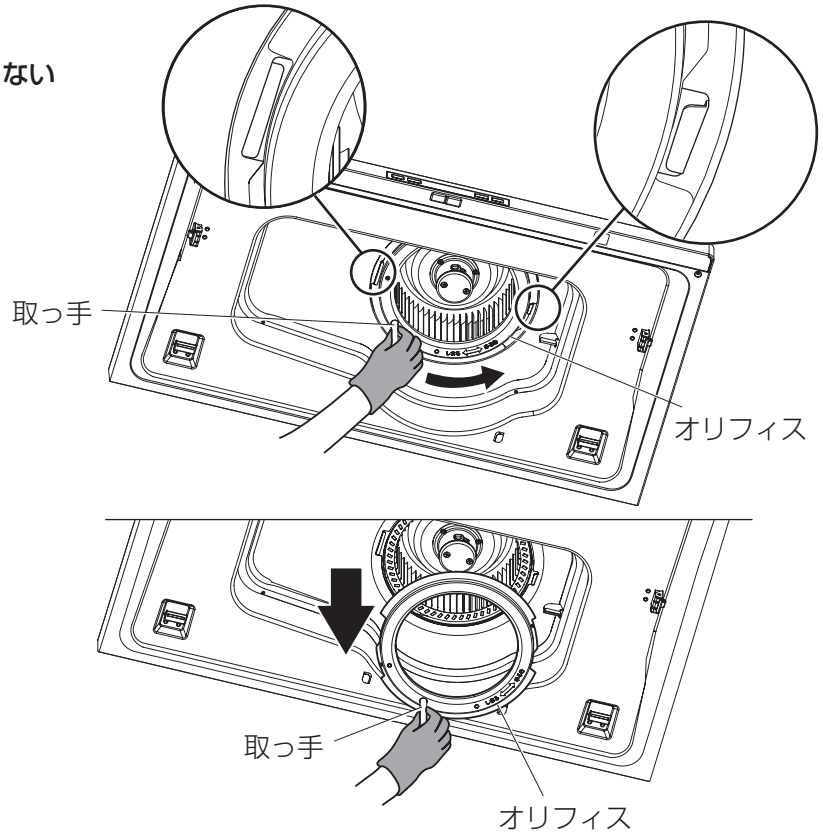
お 願 い

・オリフィス、羽根は手で支え、落下しないようゆっくりはずしてください。

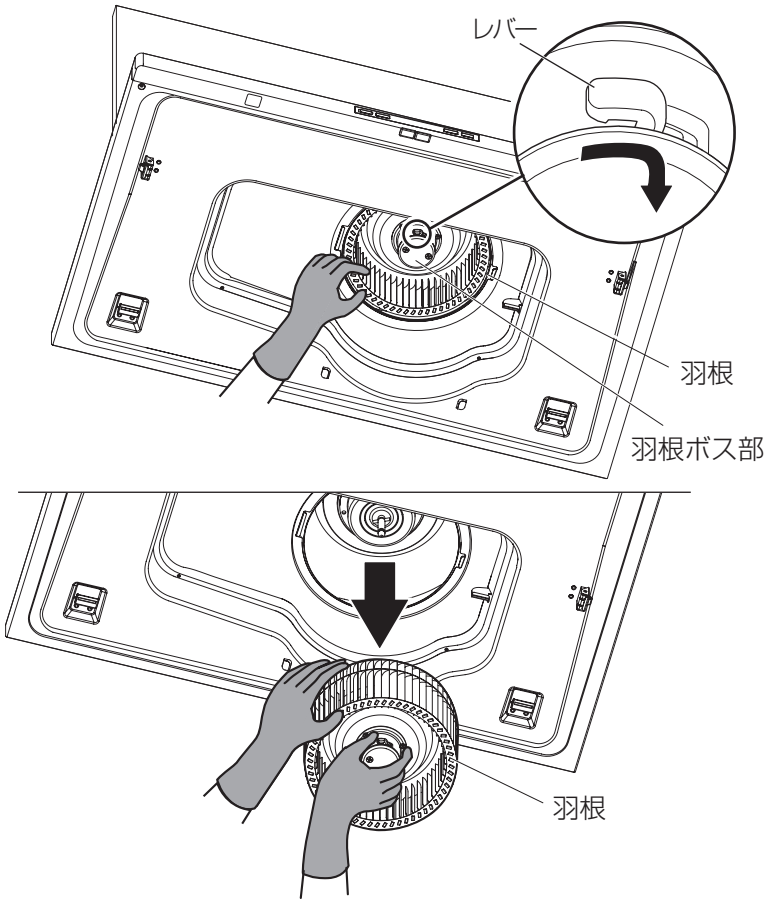
1 整流板、オイルキャッチ、油捕集板をはずす。
（☞ 13〜16ページ）

2 オリフィスの取っ手を持ち、「ゆるむ」の方向に回し、オリフィスをはずす。

※油や結露水が流れ落ちないようにオリフィスを水平に保ってはずしてください。



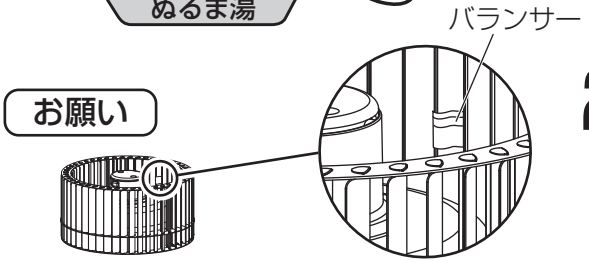
3 手で羽根を保持し、羽根ボス部のレバーを矢印の方向に押しながら、羽根を下に引き抜く。



■汚れをとる

1 ぬるま湯を入れた容器に羽根、オリフィスを浸し、樹脂製ブラシなどで汚れを洗い落す。

（しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。
金属たわしなどの硬いものは、表面を傷付けることがありますので、使用しないでください。）



2 水分をふき取り、乾燥させる。

（羽根はシャフトに挿入する部分の水分を十分に取り、潤滑剤などをさしてから取り付けてください。
羽根ボス部がモーターのシャフトにさび付くのを防止します。）

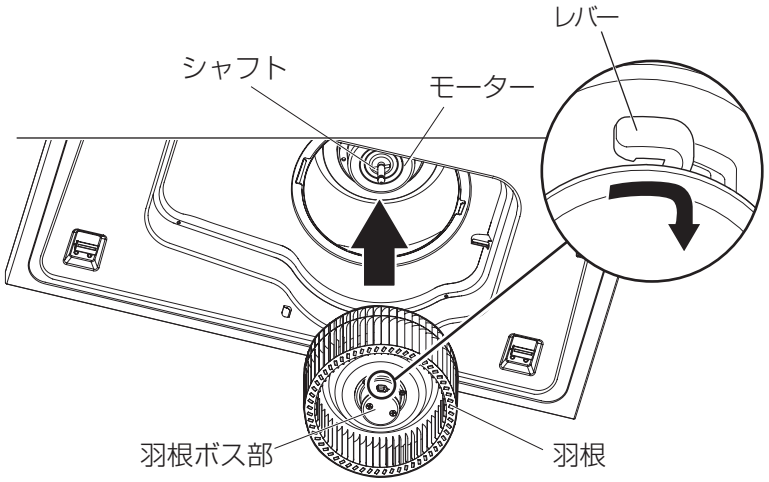
・羽根の回転バランスをとるためにバランサー（重り）が付いている場合があります。絶対にはずさないでください。異常や故障の原因となります。

■取り付け

1 羽根ボス部を持って、モーターのシャフトに挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込む。

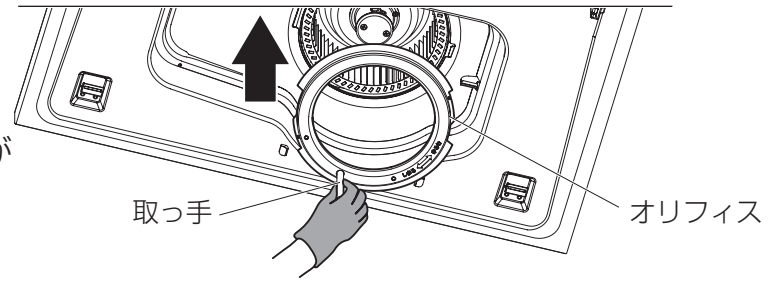
※油の付着などにより挿入が固い場合は、レバーを矢印の方向に押しながら挿入してください。

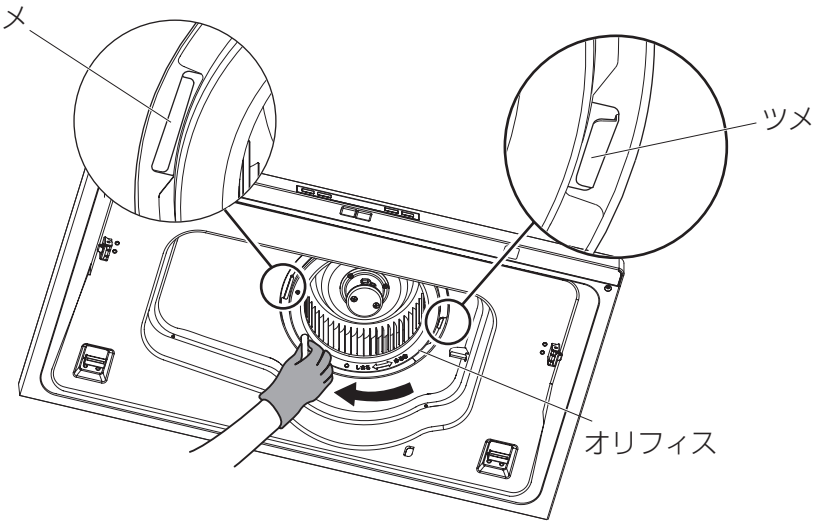
※羽根ボス部を少し引っぱり、羽根がはずれないことを確認してください。



2 オリフィスの取っ手を持ち、取っ手を「取り付け位置」に合わせ、「しまる」の方向に回し、固定する。

※本体の左右のツメに、オリフィスが保持されていることを確認してください。





3 油捕集板、オイルキャッチ、整流板を取り付ける。
（☞13～17ページ）

もっと知りたいとき

センサー感度を変える

・本レンジフードは、調理センサーの感度を調節することができます。
エコナビ運転時に風量が「上がりやすく」または「上がりにくく」したいと感じたときに、下記に従い設定し直してください。初期設定はノーマルモードに設定されています。
電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定は記憶されています。
再度セットする必要はありません。一度セットすれば記憶されます。

①「エコナビ」と「 」を同時に3秒以上押し続けると、
風量ランプが ┌→「強」→「弱」→「中」┐ と切り換わります。

（風量ランプ切り換わり時に「ピ」と音がします）

②風量ランプが合わせたい感度モードのランプに移ったら
ボタンを離す。
「ピー」と音がして、設定された風量ランプが 2 秒間点灯します。（設定終了）

感度モード	風量ランプ	内　容
高感度モード	強	風量を上がりやすくしたいとき
ノーマルモード	中	初期設定
低感度モード	弱	風量を上がりにくくしたいとき

各種モード設定を変える 換気連動システム対応型調理機器をご使用の場合に設定できます。

「常時換気モード」「換気連動モード」「照明連動モード」の設定を変えることができます。

常時換気モード

レンジフードを常時換気設備として使用する際に設定してください。
初期状態では、常時換気モードは解除されています。
電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定は記憶されています。
再度セットする必要はありません。一度セットすれば記憶されます。

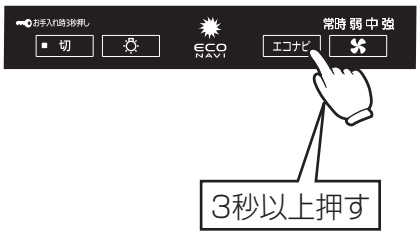
設定　→①切状態で「 」ボタンを3秒以上押す。
②「ピピ」と音がして、常時換気モードに設定されます。
※調理機器を切ると、残置運転後に風量「常時」で
24時間連続換気をおこないます。

解除　→①「 」ボタンを3秒以上押し続ける。
②「ピー」と音がして、常時換気モードが解除されます。
※調理機器を切ると、残置運転へ移行してそのあと停止します。

スイッチ近傍に［24時間連続換気してください］のラベルが貼ってある場合、本レンジフードは、建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備です。調理時やお手入れ時以外は、常に風量「常時」で24時間連続換気をしてください。

換気連動モード

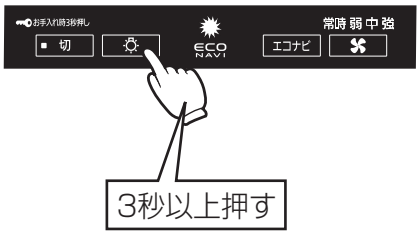
換気連動モードに設定すると、調理機器の「切/入」と連動してレンジフードが運転します。（エコナビ運転）
初期状態では、換気連動モードに設定されています。
電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定は記憶されています。
再度セットする必要はありません。一度セットすれば記憶されます。



解除　→①切状態で「 エコナビ 」ボタンを3秒以上
　　押し続ける。
　　②「ピー」と音がして、設定が解除されます。
　　（「 ECO NAVI 」ランプは点灯しません）
再設定→①「 エコナビ 」ボタンを押す。
　　②「ピピ」と音がして、換気連動モードが
　　再設定されます。

照明連動モード

照明連動モードに設定すると、調理機器の「切/入」と連動して照明が「切/入」します。
初期状態では、照明連動モードに設定されています。
電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定は記憶されています。
再度セットする必要はありません。一度セットすれば記憶されます。



解除　→①切状態で「 ☼ 」ボタンを3秒以上
　　押し続ける。
　　②「ピー」と音がして、照明連動モードが
　　解除されます。
　　※レンジフード本体スイッチまたは調理機器の
　　スイッチで、照明を切/入してください。
再設定→①「 ☼ 」ボタンを3秒以上押し続ける。
　　②「ピピ」と音がして、照明連動モードが再設定されます。

※換気連動モードが解除されているときは、照明連動モードの設定はできません。

もっと知りたいとき（続き）

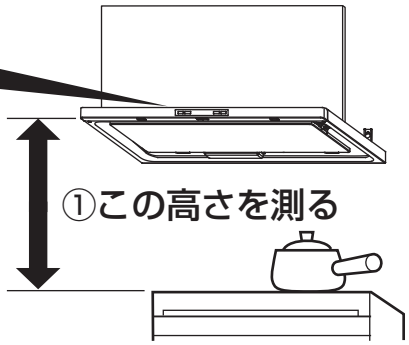
設置条件の初期設定を確認する

この操作は、設定が正しくされていないと思われるときのみにおこなってください。

・本レンジフードは、正しくお使いいただくために設置位置の初期設定、調理機器の選択が必要です。
正しく設定されないとエコナビ機能が正常に動作しません。

※ 🔧 ランプと ECO NAVI ランプ（緑）が点滅しているときは、初期設定がされていません。
下記に従い設定をおこなってください。設定が終了するとランプは消灯します。
電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定は記憶されています。
再度セットする必要はありません。一度セットすれば記憶されます。

＜スイッチ＞



① レンジフードの下端と調理機器上部（鍋を置くところ）の距離を測る。
（右図参照）

② ■ 切 を3秒以上押してスイッチをロックする。
（「ピ」と音がして、🔧 ランプが点灯します）

③ ☼ を押しながら、🌀 を3秒以上押す。
（「ピピ」と音がして設定しているランプ（ ECO NAVI 、風量ランプ）が点灯します）
（ 🔧 ランプが消灯します）

④ エコナビ を押して使用調理機器の種類を選択する。

使用調理機器	ECO NAVI ランプ
IHクッキングヒーター	点灯
ガスコンロ	点滅

（ランプ切り換わり時に「ピ」と音がします）

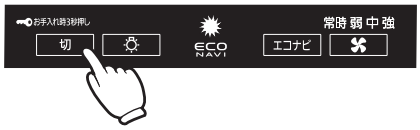
⑤ 🌀 を押して①で測った距離を設定する。
（ランプが →「常時」→「弱」→「中」→「強」→「常時+弱」→「中+強」→ と切り換わり、「ピ」と音がします）

距離（mm）	ランプ点灯状態
600（600～649）	**常時** 点灯
650（650～699）	**弱** 点灯
700（700～749）	**中** 点灯
750（750～799）	**強** 点灯

距離（mm）	ランプ点灯状態
800（800～849）	**常時**＋**弱** 点灯
850（850～900）	**中** ＋ **強** 点灯

※防火性能評定品のガスコンロ、または（財）日本消防設備安全センターにて、性能評定試験をおこない、基準を満たしたIHクッキングヒーターとの組み合わせにおいてのみ600～799mmで設置することが可能です。

⑥ ■ 切 を押して設定を終了する。
（「ピー」と音がしてランプがすべて消灯）



故障かな？

修理を依頼される前に次の点をもう一度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置
●スイッチを入れても羽根、照明の電源が入らない。 ●羽根が回らない。 ●運転しない。	●分電盤のブレーカーが「切」になっている。	●分電盤のブレーカーを「入」にする。
	●スイッチがロックされている。 （🔑が点灯 ロック状態で本体操作スイッチに触れると「ピーピーピーピー」という音がします。）	●スイッチのロックを解除する。 (P.7参照)
●吸い込みが悪い。	●屋外フードが目づまりしている。	●屋外フードを掃除する。
	●エアコンなどの風があたっている。	●エアコンなどの風があたらないようにしてください。
	●設置条件の設定が正しくない。	●設定が正しいかご確認ください。(P.22参照)
●異常音がする。	●油捕集板が汚れている。	●油捕集板を掃除する。 (P.16参照)
	●給気が十分でない。	●十分な給気を確保する。
●「🔑」と「ECO NAVI」ランプが同時に点滅している。	●「設置条件の初期設定」がされていない。	●「設置条件の初期設定を確認する」を参考に設定してください。（P.22参照）
●「常時」「弱」「中」「強」ランプがすべて同時に点滅している。	●モーター故障のおそれがあります。	●使用を停止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店、工事店またはアフターサービス（P.25）に記載の修理ご相談窓口にお問い合わせください。
●「常時」+「中」と「弱」+「強」ランプが交互に点滅している。	●通信エラーのおそれがあります。	●使用を停止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店、工事店またはアフターサービス（P.25）に記載の修理ご相談窓口にお問い合わせください。
●「ECO NAVI」ランプが点滅している。	●センサー故障のおそれがあります。	●使用を停止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店、工事店またはアフターサービス（P.25）に記載の修理ご相談窓口にお問い合わせください。

故障かな？（続き）

症　状	考えられる原因	処　置
●レンジフード運転中、風量ランプが点滅している。	―――	●故障ではありません。 残置運転中は、風量ランプは点滅します。
●調理機器側との連動機能が働かない。 （ファン運転、照明運転）	●赤外線信号の送受信が妨げられている。 ●送信部・受信部が汚れている	●信号を遮らないようにする。 (P.9参照) ●送信部・受信部を掃除する。 (P.12参照)
●調理機器側の操作でファンの運転が停止しない。	●常時換気モードに設定されている。	●設定を解除する。 (P.20参照)
●調理機器と連動して照明が点灯しない。 ●調理機器と連動して照明が消灯しない。	●照明連動モードが解除されている。 ●手動で照明を操作した。 （直前に手動で操作した場合、手動操作が優先されます。）	●再設定をする。 (P.21参照) ●手動で照明を消灯する。 (P.7参照)
●運転終了直後に風切り音がする。	●同時給排幕板または電動シャッターを使用している。	●故障ではありません。 シャッターが閉まるときに空気の通路が狭くなるために起こる音です。
●給気電動シャッターが閉じるのが遅い。	―――	●故障ではありません。 シャッターからの風切り音を低減させるためです。

処置した後に、なお異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店・工事店または保証とアフターサービス（P.25～26）に記載のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

仕様

品　番	寸法（mm） (高さ×幅×奥行)	質量 (kg)
S78BHWZ3M	345×900×425	17

電　源	風量調節	消費電力 (W)	換気風量 (m^3/h)	騒音 (dB)
交流 100V 50/60Hz	強	29.5	430	43
	中	13	310	36
	弱	6	180	27
	常時	4.5	130	19.5

●静圧0Pa（パスカル）とは、レンジフードにおよぼす圧力が「0（ゼロ）」の状態を示します。
●このレンジフードは、ご使用にならないときでも約0.5Wの電力を消費しています。
●レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。
●質量は整流板（別売品）を含んでいます。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話　（　　）　－

お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障かな！？」（23～24ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	レンジフード
●品　番	S78BHWZ3M
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

- **技術料**　診断・修理・調整・点検などの費用
- **部品代**　部品および補助材料代
- **出張料**　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　6年

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**　※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554**　※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

●消耗品・交換部品のご相談は…

■ハイ・パーツショップ（一般のお客様用）

ナビダイヤル **0570-081-802**（ハイ パーツ）

※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

【受付時間】月～金　/9：00～19：00
土・日・祝日/9：00～17：00

●携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などのご利用は

大　阪：06-6906-1224　　東　京：03-5392-7189（転）

●ホームページ　ハイ・パーツショップ　検索　http://www.sumu2.com/shop/parts/

消耗品など部品のご注文、ご相談は、「ハイ・パーツショップ」へお問い合わせください。

消耗部品	品番	標準価格(税込み)	必要個数
オイルキャッチ	FRH0250031	2,310円	1

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	ナビダイヤル	0570-081-365	

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0511MD

Panasonic

出張修理

レンジフード保証書

※お客様	お名前　　様	※お引渡し日	年　月　日
	ご住所	シリーズ・品番	S78BHWZ3M
	電話番号		
※販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	保証期間（お引渡し日から）	1年間 （ただし消耗部品は除く）

ご販売店様へ　上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

本書はお引渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
   （ハ）この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）消耗部品（電球、フィルター、電池）の取替えや修理
   （ハ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
   （ニ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）等による故障及び損傷
   （ホ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ヘ）仕上げのキズ等で、お引き渡し時に申し出がなかったもの
   （ト）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
   （チ）維持管理の不備による汚れ、さび等の不具合
   （リ）施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する損傷や故障
   （ヌ）契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
   （ル）保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
   （ヲ）一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
   （ワ）本書のご提示がない場合
   （カ）保証書にお引き渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
   （ヨ）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
6. お客様ご相談窓口は「保証とアフターサービス」（25 ページ）をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571-8686　大阪府門真市大字門真1048　TEL(06)6908-1131（代表）
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511（代表）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　日本工業規格 JIS C 9921-2 による

環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzまたは / および60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の取付設置説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間[a)] 台所　2410時間/年 居室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴室　1671時間/年	
注[a)] 常時換気（24時間連続換気）のものは、8760時間/年とする。			

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**
携帯・PHS OK　※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「990＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**
Help desk for foreign residents in Japan　**Tokyo** (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554**
携帯・PHS OK　※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

•上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●消耗品・交換部品のご相談は…

■ハイ・パーツショップ（一般のお客様用）

ナビダイヤル **0570-081-802**（ハイ パーツ）
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

【受付時間】月～金　/9：00～19：00
土・日・祝日/9：00～17：00

●携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などのご利用は
大　阪：06-6906-1224　　東　京：03-5392-7189（転）

●ホームページ　ハイ・パーツショップ　検索　http://www.sumu2.com/shop/parts/

愛情点検　長年ご使用のレンジフードの点検を！

このような症状はありませんか	・スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり回転しない。 ・運転中に異常音がしたり振動がある。 ・異臭がする。 ・その他、異常を感じる。	ご使用中止	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店または工事店に点検・修理を依頼してください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

©Panasonic Corporation 2012

9DSS44202AMD-P0611-1012